

第19回「議員と語りかい」報告書

4班上井、川内 (No.1)

開催日	平成28年5月16日 19時00分 ~ 20時30分		
開催場所	国分上井地区公民館		
団体名	上井、川内地区	参加人員	12人 (男12人:女0人)
出席議員	阿多 己清、松元 深、塩井川 幸生、蔵原 勇、時任 英寛、宮内 博		
役割分担	班 長 (蔵原 勇) 副班長 (宮内 博) 記録係 (阿多 己清)		

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

◆星隈に橋が新設されたが、井手の神橋という名称は長く、とてもいいにくいし、地区の説明もしにくい。もっとみんなの橋と思える親しみのある名称であればいいのに、どうにかできないのか。また、先の道路が狭くなっているが今後はどうなるのか。

◇永迫線約2kmであるが、集落の所が少し遅れている。25%の進捗である。早い完成を議会も要望していきたい。

◆橋の名称で、我々は「星隈大橋」と思っていたが、公民館からクレームがつき、井手の神橋となった経緯がある。名称変更は可能なのか。

◆6年ほど前に完成しているが、名称を8自治会で協議し、字の井手の神の名前が一番多かったため、それが採用されたものだ。

◆現実を考えると、自分たちは井手の神は馴染めない。現在は星隈という地区名が浸透しており、今後の若い人たちのためにも考えるべきではないか。

◇補助事業を受けて整備していると思うので、橋の正式名称は変更できないと思う。府中地区でもめがね橋という例もあるので、通称使用できないか確認してみる。

◆防犯灯のLED化の問題である。6割ほどの自治会加入者が電気代も負担している。市で電気代を少しでも補助できないか。鹿児島市は8割の整備済み。2016年度は1億7,479万円を計上したと報道されていた。本市は7,800基、とても終わらないのではないか。

◇LED化は議会のたびに議論されている。28年度再生エネルギーの基金を整備した。その資金を活用して、今後の整備を行う考えだ。今のままでは、26年かかるので、この問題は多くの議員が認識している。

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

◆牧園の庁舎は、木原町長時代にできた。国分より新しいと思うが、なぜ造るのか。

◇現在の庁舎は、高台にあり、高齢者等が歩いて行けないことなどによるものです。

◆鎮守尾橋の完成で、下川内の県道が、通勤、通学等で混雑すると思う。上井地区から陳情書を提出しているが、山崎スタンドの交差点に信号機を設置してほしい。

◆行事等でふれあい広場に行く時、下川内の押しボタンの横断歩道を渡ると歩道がない。広場前を横断するのも危険だ。両方に歩道を設置してほしい。それか県道に歩道橋を設置できないか。

◇橋の完成に伴い、県道等の道路の事情も変化してくるので、通行量を調査するとかした上で、県の公安委員会に伝えていきたい。

◆人口減と地域間格差について、川内も2極化している。どのような対策が考えられるのか。具体的に教えてほしい。

◇年々人口減少し、地域活動もしにくい状況だ。定住移住政策もやっているが、なかなか結果が出せない。地域格差の特効薬が見つからない。水の補助金を活用して人を呼び込むこともしているが、子どもがいなくなって高齢者だけになっていく。集落活動ができない。定住を進めていくしかないかと思う。

◇移住定住政策で、中山間地域への補助金、28年度は2,230万円計上。全体で4,905万円を計上した。26年度で70名が移住したとの報告である。なかなか効果が出ない。

◇よく行政は、地域間格差を解消するために、中山間地域の道路を良くするとか、インターネット環境の整備をして住みやすい環境作りを言っている。移住定住策もいいのだろうが、これといった特効薬はない状況だ。やねだんのようなことをやればいいが、これも難しい。

◆合併10年が経過したが、改革がなされない。いろいろなものが統一されない。例えば、まちづくり計画を提出しているが、なかなか実行されない。また条例公民館もかなりあるが、公民館の取扱いも不公平だ。改革や統一にはかなりのエネルギーが要る。もっとスピード感をもって取り組んでほしい。

◆災害、防災無線のあり方がどうかと思う。先日も隼人東郷の行方不明者の無線放送があった。本当に緊急だったのかと思った。

◇5月10日の行方不明者については、放送してもらったことで、市外にも知ってもらい助かった。

◇大きな災害が予想されると防災無線を活用することになる。現在、安心安全課でラッパ式の屋外無線放送機を整備した。それと各自治会等の戸別受信機と繋いでいるが、まだすべての地区には整備されていない。今回の熊本の例をみると、戸別受信機は各世帯に設置していることから、家が崩壊すると受信機は何も役に立たないと思った。今後の大きな問題と認識した。また、現在放送中のFMきりしまを活用することもよいと思っている。

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

◆防災無線機をデジタル化しないといけないが、とても経費が高い。現在の6割補助を8割にできないか。

◇デジタル無線化はかなりの負担が必要だ。今後も議会としても声を出していきたい。

◆議員は選挙のときだけで、かねての活動が見えない。かねてから自らもっと地域に入り込み、活動すべきではないか。

◇できるだけそのように努めていきたい。